

こどもの病気対策法^⑩

― 夜間のこどもの下痢 ―

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

子どものいるご家庭に配布してきた、夜間のこどもの病気対策フローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの下痢」です。

下痢している場合も、吐き気がある場合は2017年4月号に掲載した、「夜間のこどもの嘔吐」のフローチャートに移動してください。吐き気がない場合は、眠れるか、眠れないか、ぐったりしているかを判断してください。ぐったりしている場合はこども救急電話相談#8000に問い合わせてください。眠れる場合は翌朝、受診してください。

眠れない場合は、これまでもお伝えしてきた経口補水液（ORS）の出番です。図に記載した水、塩、砂糖の組成でORSを作ってください（市販品をあらかじめ準備しておいてもよいです）。まず、5ml飲んで、15分後、嘔吐がなければ、1時間かけて、体重1kgあたり5ml飲んでく

ださい（10kgならば50ml）。

飲めた場合は、以後、下痢のたびに体重1kgあたり10ml飲んでください（10kgの子ならば100ml）。そうしていても、ぐったりの状態が続けば、こども救急電話相談#8000に問い合わせてください。活気がでてきた、または眠れた場合は翌朝の受診で大丈夫です。

ただし、このフローチャートはあくまで目安です。すやすや眠れているのか、ぐったりして眠っているのか判断に悩むこともあるかと思いますが、心配事があれば、こども電話相談#8000に問い合わせてください。



夜間のこどもの下痢 フローチャート

